平成２６年度研究主題

「考える力を育てる指導法の工夫」
～ＩＣＴ機器の活用を通して～

第４回研究授業（6/23）

こだま学級　（難聴・言語障害通級指導学級）

本時のねらい

・体験したことを意欲的にはなすことができる。
・ガ・ゴ音を正しく言うことができる。
・カ・ガ行音を正しく聞き分けることができる。
・絵の内容を文でまとめることができる。

＜教材例＞

か　の練習

かあ　かい　かう　かえ　かお
あか　いか　うか　えか　おか

か　のつくことばの練習

からす　いか
くるま　ますく
けいと　とけい
こま　らっこ

文を読む練習

からすの　かずを　かぞえます。
なかまに　かさを　かりました。

本時の活動内容

・体験したことについて文を書く。
・ガ・ゴ音の発音練習をする。
・助詞「が」を使った文を作り読む。
・６コマ漫画の内容を説明し文にまとめる。
・教科書の音読をする。

研究主題に迫るための手立て

視点「コミュニケーション力を伸ばす指導の工夫」

・児童が安心して自己表現できる関係作り
・児童の興味・関心のある活動を取り入れる

視点「ＩＣＴ機器の効果的な活用方法の工夫」

・図や絵などの視覚的な情報の提示
・パワーポイントのアニメーションを利用した教材
・デジタル教科書の活用

講師の先生から（武蔵野市教育委員会　統括指導主事　川上　晋　先生）

・発音の指導はコミュニケーション意欲が大切なため、間違いがあっても、指摘せず正しい発音で返す方法がよい。
・最も大切なことは評価である。
・発音は微細運動なので、身体全体の感覚を高めていくとよい。
・子供たちの情報活用能力の育成が大切である。